2025年６月30日

各　位

会 社 名　　株式会社テラプローブ
代 表 者　　代表執行役社長　横山　毅
（コード番号：6627　東証スタンダード）
問合せ先　　執行役CFO　中川　雅幸
（TEL　045-476-5711）

あおぞら銀行によるポジティブ・インパクト・ファイナンス実行に関するお知らせ

当社は、株式会社あおぞら銀行（本店：東京都千代田区、代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）：大見秀人、以下「あおぞら銀行」といいます。）と、あおぞらESGフレームワークローンに基づくポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下「PIF」といいます。）の契約を本日締結しましたことをお知らせいたします。

PIFは、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が策定したポジティブ・インパクト金融原則（以下「PIF原則」といいます。）に基づき、企業活動が環境、社会、経済にどのようなインパクト（影響）を与えるかを包括的に分析・評価し、ポジティブなインパクトの進展・拡大ないしはネガティブなインパクトの緩和・抑制を継続的に支援することを目的としたファイナンスです。

あおぞら銀行は、2023年６月１日付で「あおぞらポジティブ・インパクト・ファイナンス」として、あおぞら銀行のPIF評価実施体制がPIF原則に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しています。今般、当社が本契約にて掲げるKPI及び目標等のPIF原則への適合性は、あおぞら銀行が確認しています。

■PIFの概要

借入人	株式会社テラプローブ
契約締結日	2025年６月30日
貸付人	株式会社あおぞら銀行

■当社のサステナビリティ

当社は、半導体テストサービスを通して、「半導体に確かな信頼を与えること」で、皆様の安全で豊かな生活を支え、持続可能な社会に貢献します。また、当社グループの行動指針である「Tera Probe Code of Conduct」にESGに関する基本的な姿勢を定め、環境保全・社会貢献・人権尊重などに対して取り組んでいます。企業としての社会的責任を果たすために、これらの取り組みをさらに推進し「中長期的な企業の持続的成長」と「持続的社会の実現への貢献」の両立を目指しています。

PIFの実行にあたっては、当社の重要課題（マテリアリティ）を中心に、事業活動に伴う社会的責任やSDGs達成に向けた貢献について、あおぞら銀行による分析・評価に基づき、後記のKPIを設定しました。

■PIFにて掲げるKPI及び目標

インパクトカテゴリー	対応方針/取組内容	KPI	目標	関連するSDGs
NI: 気候 PI, NI: 資源効率･安全性	•低炭素生産設備（省電力、高効率率、省スペース）の調達 •稼働効率化 •省エネルギー施策の推進	•GHG排出量 Scope1+2、Scope3	•Scope1+2 2030年度までに▲42%（2022年度対比） •Scope3 2030年度までに▲25%（同上）	
PI, NI: 雇用	•次期管理職世代への教育推進 •女性が働きやすい環境づくり •新卒採用活動時の取組みの見直し •各種休暇取得制度の運用	•女性管理職数 •女性技術者数 •年次有給休暇取得日数	•2022/4/1～2027/3/31までに倍以上 （2024/12/31時点実績：1名） •2022/4/1～2027/3/31までに8名以上 （同上：15名） •2022/4/1～2027/3/31までに年間12日以上 （2023/4/1～2024/3/31実績：12.98日）	

（凡例）PI：ポジティブインパクトの拡大、NI：ネガティブインパクトの抑制

以　上